

以下の記載は、表題の診療ガイドラインから漢方製剤に関する記述を抽出したものです。診療において漢方製剤を使用される場合には、必ず、ガイドライン全体をお読みになり、その位置づけを正しく理解された上で行ってください。

ガイドラインのバージョンは最新のもののみを掲載しています。改定がなされていないガイドラインは、そのまま掲載しています。このガイドラインと其中的の漢方の記載を、診療の参考にすべきかどうかの判断は、使用者の責任で行ってください。

# エビデンスに基づく助産ガイドライン-妊娠期・分娩期・産褥期 2020

日本助産学会 エビデンスに基づく助産ガイドライン-妊娠期・分娩期・産褥期 2020 ガイドライン委員会 (委員長: 堀内成子 聖路加国際大学)

日本助産師会出版 発行年月日 2020 年 1 月 31 日

## ■1 漢方薬

疾患:

妊娠中の痔核

引用など:

Gan T, Liu Y, Wang Y, et al. Traditional chinese medicine herbs for stopping bleeding from haemorrhoids. *Cochrane Database of Systematic Review* 2010; 10: CD006791.

有効性に関する記載ないしその要約:

『CQ115 妊娠中の痔核の改善に効果的な方法は何か?』に対して、下記の記載がある。  
『上記以外のエビデンス: 妊娠中の女性ではない、一般の人を対象としたコクラン SR は 5 件であった。(中略)

痔核からの出血に対する漢方薬の効果 (Gan 2010)、血管強化薬であるフラボノイドの効果 (Perera 2012) について検討されている。』

## ■2 生薬

疾患:

妊娠中の痔核

引用など:

Alonso-Coello P, Guyatt G, Heels-Ansdell D, et al. Laxatives for the treatment of hemorrhoids. *Cochrane Database of Systematic Review* 2005; 4: CD004649.

有効性に関する記載ないしその要約:

『CQ115 妊娠中の痔核の改善に効果的な方法は何か?』に対して、下記の記載がある。  
『上記以外のエビデンス: 7 件の RCT (n=378) を対象とした食物繊維 (ハーブ、生薬、ブラン、ダイエットファイバーなど) とプラセボの比較 (Alonso-Coello 2005) では、全般的な痔核症状の改善がみられ (RR 0.47 [95% CI 0.32, 0.68])、出血の症状も改善された (RR 0.5 [95% CI 0.28, 0.89])。』